

住宅火災による死者が急増しています！

1月1日～2月20日までの期間に、東京消防庁管内において
住宅火災による死者が、28人発生（前年比10人増）しています。

たばこ

毎年、死者発生原因第1位！



- ☑ 寝たばこは絶対にしない
- ☑ 飲酒→喫煙→うたた寝に注意
- ☑ 吸殻を灰皿にためない
- ☑ 吸殻は水で完全に消してから捨てる
- ☑ 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する

ストーブ

ストーブの中で最も多い原因は、電気ストーブ！



- ☑ 周囲に燃えやすいものを置かない
- ☑ 外出時、就寝時は必ず消す
- ☑ 石油ストーブ等は必ず消してから給油する
- ☑ 洗濯物を乾かすために使用しない



こんろ

住宅火災発生原因第1位 着衣への着火に注意！！



- ☑ 調理中に離れない
- ☑ 周囲に燃えやすいものを置かない
- ☑ 防災製品のエプロンやアームカバーを使用する
- ☑ 火が鍋底からはみ出さないように調節する
- ☑ 安全機能（Siセンサー）付きこんろを使用する

コード

身近に潜む、火災の危険！！



- ☑ 使っていないプラグは抜いておく
- ☑ プラグ、コンセントは定期的に掃除する
- ☑ タップは決められた容量内で使用する
- ☑ 家具などの下敷き、折れ曲がりに注意する
- ☑ 束ねて使用しない

問合せ先 東京消防庁 杉並消防署 TEL 03-3393-0119

荻窪消防署 TEL 03-3395-0119

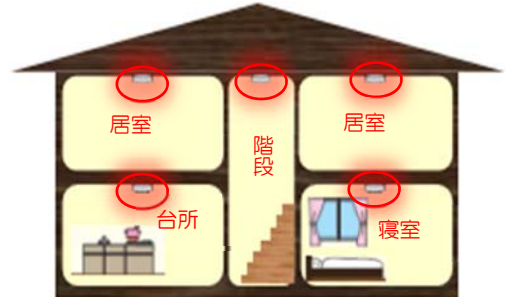
火災から尊い生命を守ろう

住宅用火災警報器について

○ 火災予防条例に適合した設置

住宅用火災警報器は、全ての居室、台所、階段に設置しましょう。

東京消防庁管内では、平成 22 年 4 月 1 日から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。



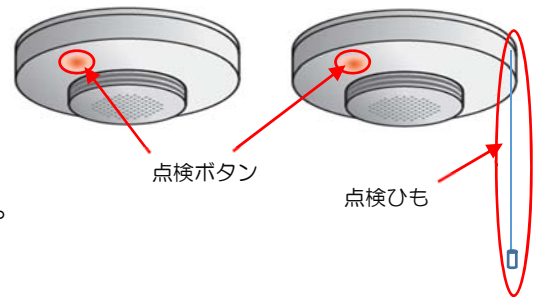
○ 適正な維持管理・点検・お手入れについて

作動確認は、本体の点検ボタンを押すか、ひも付きのものは、ひもを引くことで行うことができます。

音が鳴らない場合は、電池切れか機器の故障が考えられます。詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。

住宅用火災警報器にホコリ等の汚れがつくと、火災を感知しなくなる危険性があります。

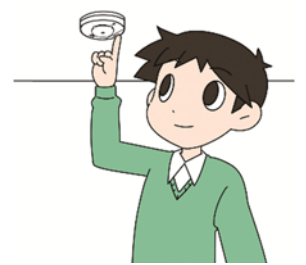
汚れが目立ったら乾いた布でふき取りましょう。台所に設置してある住宅用火災警報器で油污れがひどいものは、せっけん水に浸した布を十分絞ってからふき取りましょう。



○ 交換時期について

住宅用火災警報器は、故障警報や電池切れ警報により異常を知らせてくれる機能が付いているので、警報が鳴った場合は製品の取扱説明書を確認し、故障の場合は本体交換、電池切れの場合は新しい電池に交換するか、設置から年数が経過したものは、機器の機能低下も考えられることから本体の交換も検討しましょう。

また、住宅用火災警報器の耐用年数は概ね 10 年といわれており、これから新しい機器に交換が必要な住宅用火災警報器が多くなることが予想されます。10 年を過ぎているものは、電子部品の寿命等による故障や電池切れにより、火災を感知できなくなる可能性が高まるため、ご自宅の住宅用火災警報器の設置時期を、設置するときに記入した設置年月か、本体に記載されている製造年を確認しましょう。



もしもの火災に備えて

備えよう！住宅用火災警報器